

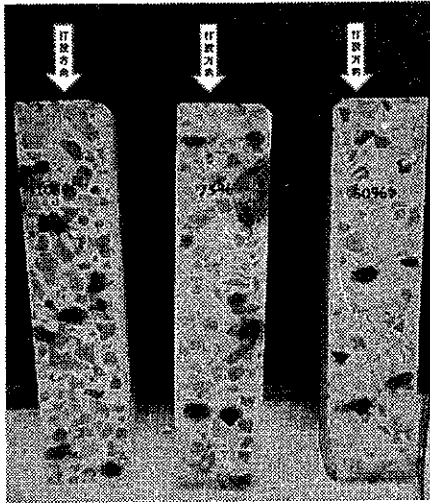
淀コンクリート工業(株)

関西大学 産学連携で府下初の開発に成功

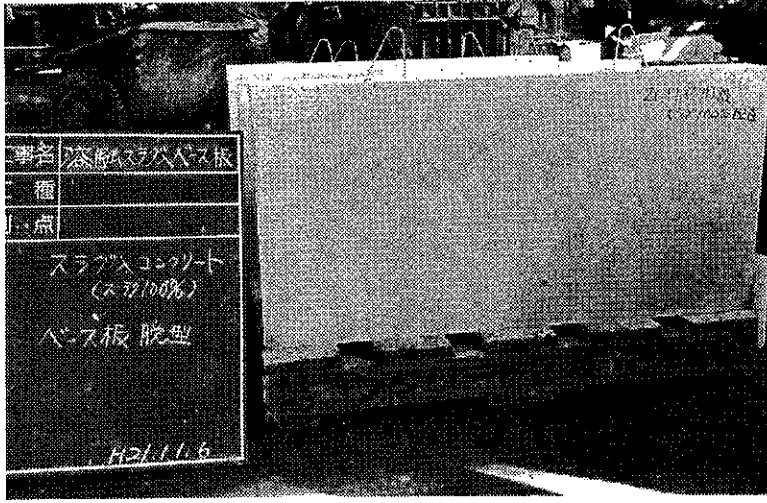
設計協力
技建管理

下水汚泥溶融スラグの粗骨材を有効利用した

コンクリート製品(ベース板)



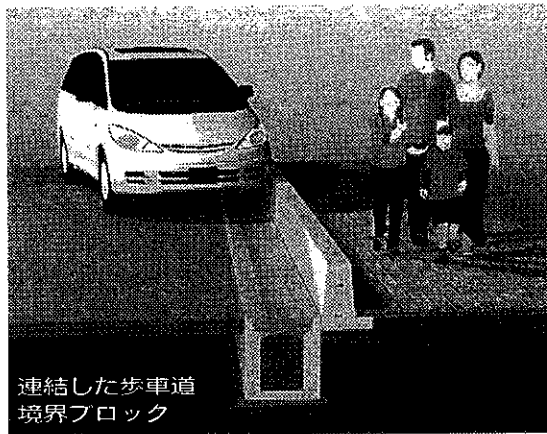
溶融スラグ製品(左はベース板カット面)



溶融スラグ製品
ベース板 脱型
スラグ含有率
(最大100%)

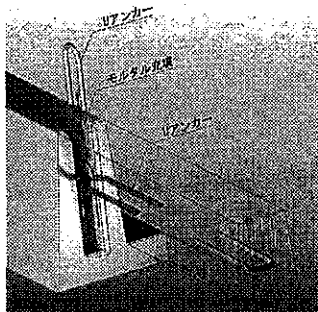
淀コンクリート工業(株)は、大阪府下で初めて下水汚泥溶融スラグの粗骨材を使用したコンクリート製品(ベース板)を開発した。このベース板と「連結した歩車道境界ブロック」(品名・セフティー縁石)の新製品二つを「建設技術展2009近畿」の全国コンクリート製品協会関西支部(黒川信文支部長)のブースに出展。「環境」「安全・安心」の分野で、多くの関係者から大きな注目を集めた。今後、早

循環型社会の実現、環境保全への貢献を目指す



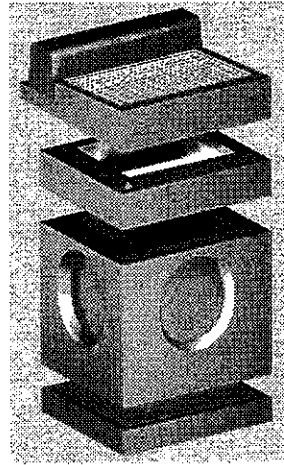
連結した歩車道境界ブロック

自在継手部



「連結した歩車道境界ブロック」も実用化へ

「連結した歩車道境界ブロック」は、(株) 榊原建設・同解説(日) 技建管理の設計協力を得て開発された。セフティー縁石は、立ち上りがりを高めたブロックな



組立厚型会所柵

厚型会所柵、U型側溝などに

淀コンクリート工業(株)は、大阪府下で初めて下水汚泥溶融スラグの粗骨材を使用したコンクリート製品(ベース板)を開発した。このベース板と「連結した歩車道境界ブロック」(品名・セフティー縁石)の新製品二つを「建設技術展2009近畿」の全国コンクリート製品協会関西支部(黒川信文支部長)のブースに出展。「環境」「安全・安心」の分野で、多くの関係者から大きな注目を集めた。今後、早

期の実用化を目指す。現在、下水道の普及や高度処理の実施に伴い、下水汚泥が増えている。その有効利用を図るた

め、各方面で下水汚泥溶融スラグについての調査・研究が進められている。汚泥溶融スラグは、大阪府でも建設資材として活用されるケースもあるが、コンクリート製品としては、まだ活用されていないのが現状。こうした背景のもと、同社は、プレキャストによる工場生産でコストダウンを図り、二年前から産学連携

合、強度、中性化抵抗性、クリート製品協会(松本幸雄会長)の協力を得て普及促進を目指す。

一方、セフティー縁石の「連結した歩車道境界ブロック」は、(株) 榊原建設・同解説(日) 技建管理の設計協力を得て開発された。セフティー縁石は、立ち上りがりを高めたブロックな

で、車が高さより乗る交通事象の抑制、歩行者と下高さを四五センチ高く、各ブロックをUアンカーで繋ぐことにより、この課題を解決した。自在継手部のUアンカーは特許出願中。

西畑代表取締役の話「ベース板の実験では、大阪府の下水処理場から骨材を提供していた。官とのマッチングも実現して開発できたもの。トータルコストとして従来より安くなる。私たちが目指しているのは循環型社会の実現、環境保全の貢献。今後は関係者の協力を得て実用化を図りたい」。

建設技術展に出展、注目集める



開発された新製品に来場者も注目